

とう芸体験

天王小・5 森下 侑美

雨でたいくつしていたわたしに

「何か造る？」

祖母が持ってきたとう芸用の土

おもしろそう

何を造ろうかな

考えていたわたしの頭にふつとうかんだのは

なぜかブロッコリー！

丸くした土を何個もてっぺんにのせて

指で形を整えていく

葉っぱが切られた後の、くきのでこぼこや

もこもこと、もり上がった花の部分

花からのびた細いくき

本物のブロッコリーと見比べながら

ヘラを使って細いくきを造る

できた！

予想以上にうまくできたブロッコリー

けど何か物足りない

あつ、小さい花をかいてない！

つまようじを六本いっしょに持って

花の部分におし付けていく

リアルなブロッコリーが完成した

祖母に見せると

「本物みたい。とても上手にできたね」

ほめられて、うれしくなった

けど次のしゅん間

祖母はブロッコリーにぼうをさそうとした

「だめっ！」

わたしはブロッコリーを守るようにかかえた

でもそれは、わたしのかんちがいで

焼く時にわれないように

真ん中に、ぼうであなを開けるんだって

わたしの大事なブロッコリー

焼き上がるのはもう少し先

わたしはブロッコリーを食べるたびに

この体験を思い出すだろう